

2012
 文月号
 7460
 ホウライ

右馬允だじ

天候不順と薫風を楽しめないうらに梅雨に悩まされてしまひ 梅雨空、夏空、時に冬空と更に不思議な年になつていきます。皐月号から追いつけなくなり、誕生月の水無月号はついに流れてしまひ、どうしていたのだらうとメモを又てみましたら 80歳私の右腕のしびれたまゝ不自由になり 脳と頸椎のMRIを撮ってもらつたりして大騒動。結果異常なしということと整形外科へ、なんというとか50肩であることが判明、以来前から痛んだ膝も含めて通院中です。何かは治らないうちです。数日後...「今までよく頑張れたね」と誉めてあげた正介さん 24日(日)朝自治会の草刈り作業の帰り道で膝をおかしくしたといひながら戻られた。そのころみるみるふくらんで来て耐えられない痛みもやって来て、私たちは昼のお客様で奮けず(その日は車もあつたに なんと19名の昼食) 允の嫁の文恵さんに救急医(日曜日でしたので)に連れて行ってもらひ、じん帯損傷ということであつた水を注射器で分けてもらったそう。物直後痛みは治まるもののまたひどい痛みに罹れるようであつたので3日目には入院。足のつけ根からつま先までギブスをかけられもう身動き不可。2、3日は痛みで顔もゆがんでいました。

このころその痛みもとれてようやく正介らしいいい顔つきになつて一安心です。そうするともう家に帰りたくて 帰りたくて、先生にお願いして明日(土)退院の許可がよりました。あつと一週間ギブスははずれず 不便です。痛み、えげげな汗、汗かきといけるでしょう。おは早くからかたまる来ていました。正介も遂にそういうお年頃となつたみたいです。はきりと若い者たちには頑張りてもらふようにと 天の声の降りて来た感じ。* 先夫のことをよくよく考える。* ^(アツツ) 全体的にいいようになつていく * 大丈夫、心配しないうで!! とういふたこと、現実味を帯びて目の前に広がつて来ます

私たちが到らせても 娘 息子たちも 右馬允をやって来てあります。允へはじめたうとんや と お客様も少しづつ来々来て(来てくれない日ももちろん あります)迎え入れの準備をするということに 意義を感じています。

ご先祖様の置いていって下さつた建物、庭、器、血が私たちの宝物です。ご先祖様たちは守られながら 感謝して 生きる。一生けん命 守る 私たちに出来ることは たゞそれだけです。正介もここからは 監督の立場にたち 若い息子たちをきちんと指導して行ってもらいたいと思います。息子たちもそれに応えてしっかり大きくなつていって欲しいです。正介より1足先には65才になつた私、しっかり大人の仲間入りをしました。記念に残る水無月(誕生月)を ^(先夫) 遇したことをした。